

終活の取組状況に係るアンケート調査結果

1. 目的:市民の終活の状況について調査し、今後のACPの推進に反映させることを目的に調査を実施する。

2. 実施期間:令和6年11月22日～12月25日

3. 実施方法:TAKAOKAアプリによるWeb回答

4. 調査対象者:TAKAOKAアプリ利用者(18歳以上の高岡市民)

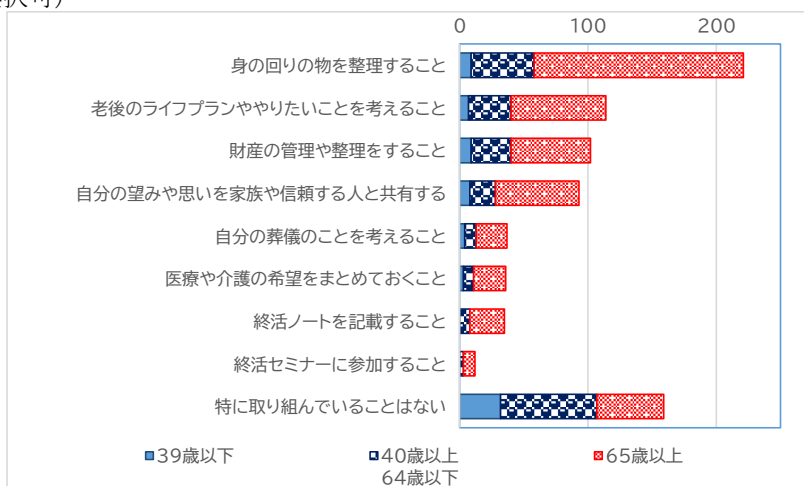
5. アンケート回答状況

～39歳以下	53
40歳以上64歳以下	153
65歳以上	273
計	479

6. アンケート回答状況

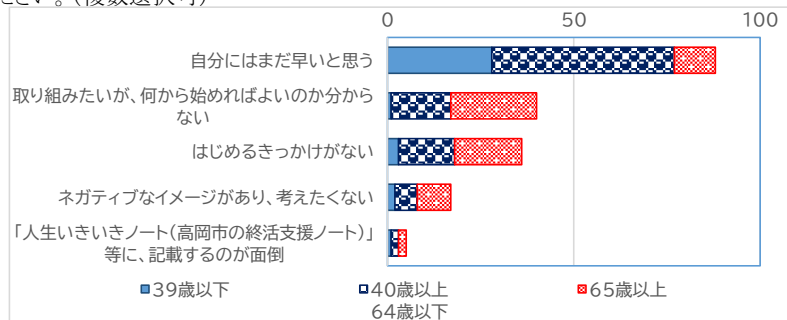
Q1 “終活”のために取り組んでいることはありますか？(複数選択可)

	39歳以下	40歳以上 64歳未満	65歳以上
身の回りの物を整理すること	9	49	163
老後のライフプランややりたいことを考えること	7	33	74
財産の管理や整理をすること	9	31	62
自分の望みや思いを家族や信頼する人と共有する	8	20	65
自分の葬儀のことを考えること	4	9	24
医療や介護の希望をまとめておくこと	3	8	25
終活ノートに記載すること	0	8	27
終活セミナーに参加すること	0	3	9
特に取り組んでいることはない	32	75	52



Q2 (終活に取り組んでいない方) 取り組んでいない理由をお聞かせください。(複数選択可)

	39歳以下	40歳以上 64歳以下	65歳以上
自分にはまだ早いと思う	28	49	11
取り組みたいが、何から始めればよいのか分からない	1	16	23
はじめるきっかけがない	3	15	18
ネガティブなイメージがあり、考えたくない	2	6	9
「人生いきいきノート(高岡市の終活支援ノート)」等に、記載するのが面倒	1	2	2



<まとめ>

- 終活のために「特に取り組んでいることはない」と回答する人は、39歳以下では6割、40歳以上64歳以下では5割、65歳以上では2割であった。
- 終活に取り組んでいない人の理由では、「自分にはまだ早いと思う」の項目で回答数が最も多く、取り組んでいない人の約半数を占めている。一方40歳以上では、「取り組みたいが、何から始めればよいのか分からない」や「はじめるきっかけがない」との回答もあり、終活やACPの必要性や具体的な内容について広く市民に周知する機会を作らなければならないと考える。